

# Cherry Jam Downtown

## バンクーバー・チェリーブロッサム フェスティバルが開幕!

長かった冬が終わりを告げると、バンクーバーでは桜が一斉に開花を始め、今年もチェリーブロッサム・フェスティバル (VCBF) が開幕した。ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー市ダウンタウンのバラード駅コンコースで4月4日、恒例となったフェスティバルのキックオフイベント、バンクーバー・チェリージャム・ダウンタウン・コンサートが開催された。この日のバンクーバーは大変暖かく、晴天にも恵まれ、行き交う人々も足を止めて満開となった桜の花やライブミュージックを楽しんだ。



▲スカイトレイン・バラード駅周辺に咲きほこる桜の品種は『アケボノ』



多文化のバンクーバーにふさわしいラテン・フュージョンミュージックを演奏した『MNGWA』



威勢の良い語り太鼓の演奏はひとときわ注目を浴びた



バラード駅コンコースに設けられたステージ。行き交う人々も足を止め、音楽を楽しんだ



『ノリノリ&カゲ』のアイリーン・カゲさん。三味線の音色との絶妙なコラボで和太鼓演奏を披露



『ノリノリ&カゲ』のノリコ・コバヤシさん。演奏の途中で三味線の弦が切れてしまうほどのパワーを放った



『Zimbamoto』でボーカルとマリンバを担当するクライ・ムバイワさん。アフリカ、ジンバブエのクラシックとモダンが融合されたリズムカルなアフリカンミュージックを演奏

### 文化を超えた友情を

初めに司会の VCBF 事務局長、ポール・シュレンバーク氏がフェスティバルの開幕を告げ、VCBF 創始者、リンダ・プール氏とバンクーバー・パークボードの理事、デイブ・デマーズ氏を紹介した。

14年前にプール氏がバンクーバー市に企画を持ちかけて以来、VCBFは、毎年この時期に開催されてきた。氏の名言ともいえる「桜の下に他人はいない (There are no strangers under the cherry trees)」からも、フェスティバルには文化を超えた友情を育もうとの願いが込められている。

二組の日系グループの演奏前には、羽鳥隆在バンクーバー日本国総領事の挨拶があり、バンクーバーで様々な文化、とりわけ日本文化が広められたことに、そして、この素晴らしいフェスティバルを築きあげたプール氏に感謝の意を述べた。在バンクーバー日本国総領事館は、過去何年間にもわたり VCBF のスポンサーを務め、今年のチェリージャム・ダウンタウンでは、『語り太鼓』と『ノリノリ&カゲ』のスポンサーとなった。

### 多文化なコンサート

多文化なバンクーバーにふさわしく、この日のライブミュージックは多様なジャンルの音楽で構成された。軽快なアフリカンリズムに乗った『Zimbamoto』がスタートを切った。そしてバンクーバーの日系グループ『語り太鼓』と『ノリノリ&カゲ』の迫力ある演奏へと続いた。力強い和太鼓のリズムと三味線の音色は、大きく会場に響き渡り、観客と行き交う人々を魅了した。

イベントの最後を飾ったバンドは、南米コロンビアのクンビア音楽をルーツとする『MNGWA』。サルサやレゲエ、ヒップホップ、サイケデリック・ロックなど多様なジャンルが融合された音楽に、4カ国語の歌詞が織り交ぜられたユニークな曲を披露した。

### バンクーバーの桜を楽しむ

現在、バンクーバー近郊に植えられている桜の樹、約4万3千本は日本から寄贈されたもので、桜の植樹は続いている。開花の時期は品種によって違い、3月下旬から5月中旬までの長期にわたってバンクーバーならではの開花が楽しめる。(http://maps.vcbf.ca/map/)

VCBFでは、4月13日、14日にバンデューセン植物園で行われる「Sakura Days Japan Fair」をはじめ、多くのイベントが企画されているので注目したい。(https://www.vcbf.ca/community-events)

(取材 中村みゆき)



挨拶のことは述べる羽鳥隆在バンクーバー日本国総領事



VCBF 創始者のリンダ・プール氏。桜のバナーをバンクーバーから発信



桜のピンク色をコーディネートに取り入れ、「今日はソックスもピンク色です」と話すポール・シュレンバーク VCBF 事務局長



フェスティバルの開幕を祝うバンクーバー・パークボードのデイブ・デマーズ理事